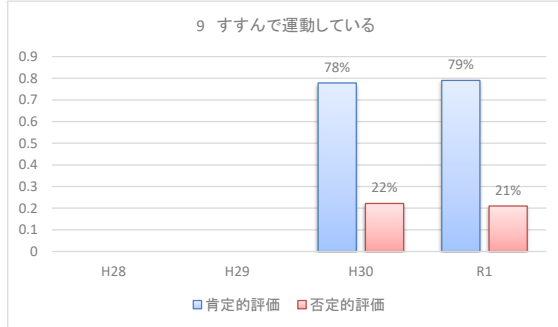
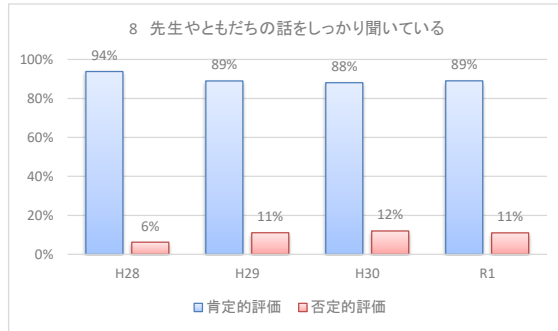
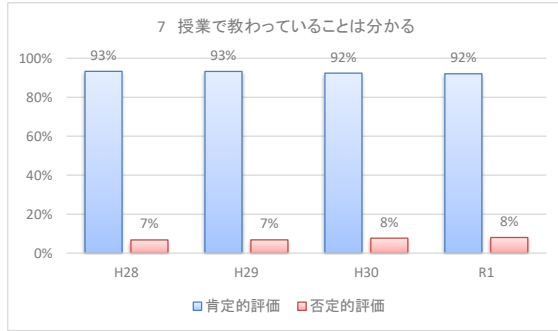
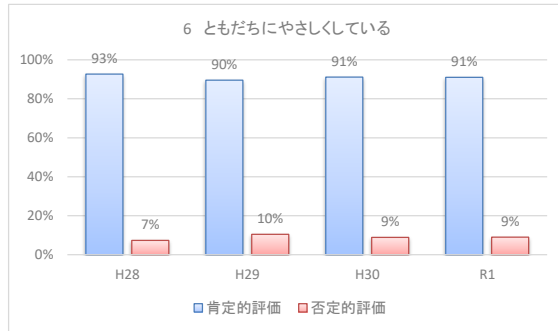
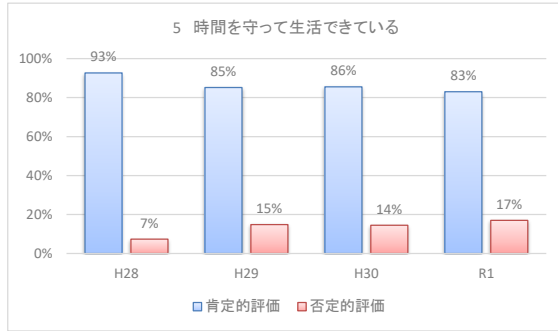
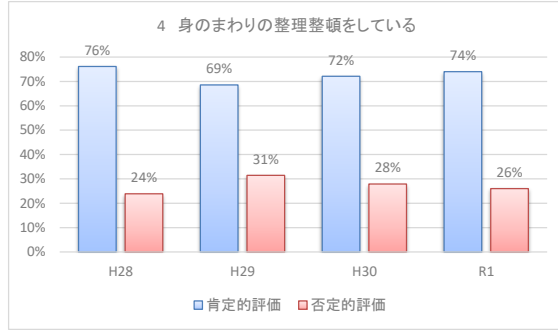
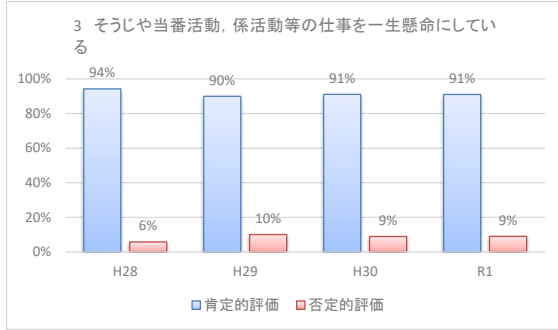
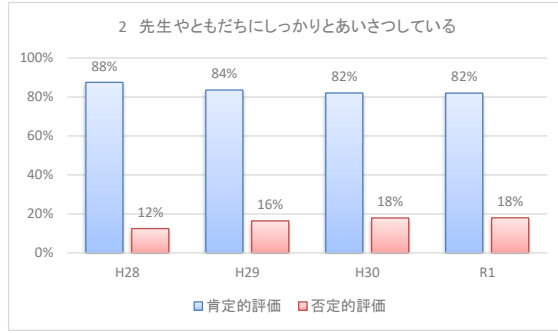
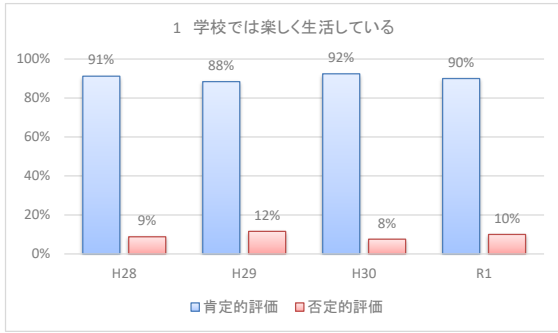


平成28年度～令和元年度 児童 学校生活アンケート 肯定的(A・B)・否定的(C・D)回答別 経年比較



【考察】

○1「学校生活」、3「勤労奉仕」、6「豊かな心」については肯定的評価の回答が90%以上の高水準を保っている。
 一方で、それぞれの項目について「まったくそう思わない」と回答した児童がわずかながらいることについて見逃さず、全職員がアンテナを高く張り、情報共有を図りながら、児童へのきめ細やかな対応を進めていかなければならない。
 ○4「整理整頓」については年を追うごとに改善がみられてはいるが、2「あいさつ」、4「整理整頓」、5「時間を守る」8「話を聞く」等の規範意識の醸成については今後も引き続き課題と捉え、改善を図る。

○7「学習」については昨年度に引き続き、保護者の回答とともに90%以上が肯定的評価であるが、習得状況が十分でない児童に対する補足的な学習、習熟度別指導の充実を今後も図っていく。
 ○9「体力向上」については、昨年度同様、運動に親しもうとする意欲や機会が十分に確保されていない状況であることがわかった。体力テストの結果からも、さらに、体育授業の充実、運動の日常化等、意図的・計画的に進めていく必要がある。